

学校法人熊本YMCA学園 事業報告

・YMCA水前寺幼稚園

(1) 幼稚園

	満3歳児 ()		3歳児 (年少組)		4歳児 (年中組)		5歳児 (年長組)		計	
	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数
4月			38名	33名	36名	35名	40名	40名	114名	108名
5月			38名	33名	36名	35名	40名	40名	114名	108名
6月			38名	33名	36名	34名	40名	40名	114名	107名
7月			38名	33名	36名	34名	40名	40名	114名	107名
8月			38名	33名	36名	34名	40名	40名	114名	107名
9月			38名	33名	36名	34名	40名	40名	114名	107名
10月	7名	9名	38名	33名	36名	34名	40名	40名	121名	107名
11月	7名	9名	38名	33名	36名	34名	40名	39名	121名	106名
12月	7名	9名	38名	34名	36名	34名	40名	39名	121名	116名
1月	7名	9名	38名	34名	36名	33名	40名	39名	121名	115名
2月	7名	9名	38名	34名	36名	32名	40名	39名	121名	115名
3月	7名	9名	38名	34名	36名	32名	40名	38名	121名	114名
平均	7名	9名	38名	33名	36名	33名	40名	39名	121名	109名

〔年間評価〕

・年度末にかけて、引っ越しによる転園が出たため、若干の園児数減少がみられた。また年度末を持って転園の園児もいるため次年度は更に数名減となる。

	ピアノ教室		バレエ		そろばん教室	
	予算	実数	予算	実数	予算	実数
4月	20名	17名	17名	13名	21名	19名
5月	20名	19名	17名	17名	21名	22名
6月	20名	19名	17名	18名	21名	22名
7月	20名	22名	17名	19名	21名	22名
8月	20名	22名	17名	16名	21名	22名
9月	20名	22名	17名	16名	21名	22名
10月	20名	22名	17名	16名	21名	22名
11月	20名	23名	17名	16名	21名	21名
12月	20名	24名	17名	15名	21名	20名
1月	20名	24名	17名	15名	21名	20名
2月	20名	24名	17名	15名	21名	20名
3月	20名	24名	17名	15名	21名	20名
平均	20名	21名	17名	16名	21名	21名

〔年間評価〕

バレエ教室は8月から小学生クラスを閉講したが、予算を1、2名下回る形で推移している。しかし、ピアノ教室が予算比+3名で全体としては予算を達成できている。そろばん教室は園児の転園による退会もあったが、ほぼ予算通りに推移している。

2. YMCA熊本五福幼稚園

(1) 幼稚園

	満3歳児 ()		3歳児 (年少組)		4歳児 (年中組)		5歳児 (年長組)		計	
	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数
4月			24名	21名	21名	21名	20名	20名	65名	62名
5月			24名	21名	21名	21名	20名	20名	65名	62名
6月			24名	21名	21名	21名	20名	20名	65名	62名
7月			24名	21名	21名	21名	20名	20名	65名	62名
8月			24名	21名	21名	21名	20名	20名	65名	62名

9月			24名	21名	21名	21名	20名	20名	65名	62名
10月	10名	10名	24名	21名	21名	21名	20名	20名	75名	72名
11月	10名	10名	24名	21名	21名	21名	20名	19名	75名	71名
12月	10名	10名	24名	21名	21名	21名	20名	19名	75名	71名
1月	10名	10名	24名	20名	21名	21名	20名	19名	75名	70名
2月	10名	10名	24名	20名	21名	21名	20名	19名	75名	70名
3月	10名	10名	24名	20名	21名	21名	20名	19名	75名	70名
平均	10名	10名	24名	21名	21名	21名	20名	20名	70名	66名

[年間評価]

- ・前年度3月に在園児の転勤により3名減少した人数分の確保が、途中入園で補うことができず、そのまま予算人数を下回る結果になった。2022年度は、新年中組にも新入園児が入園予定のため、予算定員でスタートする予定。

3. 専修学校熊本YMCA学院

(1) 専門課程・高等課程

	建築科						ホテル観光科・ビジネス総合学科					
	第1学年		第2学年		計		第1学年		第2学年		計	
	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数
前期	63名	62名	44名	43名	107名	105名	18名	22名	23名	22名	41名	44名
後期	58名	60名	43名	40名	101名	100名	17名	22名	22名	22名	39名	44名
平均	60名	61名	43名	41名	103名	102名	17名	22名	22名	22名	40名	44名

	医療事務情報管理科・診療情報管理士専攻科							
	第1学年		第2学年		専攻科		計	
	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数
前期	20名	19名	17名	17名	6名	6名	43名	42名
後期	19名	19名	16名	16名	6名	6名	41名	41名
平均	19名	19名	16名	16名	6名	6名	42名	41名

	健康スポーツ科					
	第1学年		第2学年		計	
	予算	実数	予算	実数	予算	実数
前期	17名	18名	17名	17名	34名	35名
後期	16名	18名	16名	17名	32名	35名
平均	16名	18名	16名	17名	33名	35名

	児童福祉教育科							
	第1学年		第2学年		第3学年		計	
	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数
前期	18名	19名	9名	11名	14名	13名	41名	43名
後期	17名	18名	9名	10名	14名	12名	40名	40名
平均	17名	名	9名	10名	14名	12名	40名	41名

	グローバルコミュニケーション科					
	第1学年		第2学年		計	
	予算	実数	予算	実数	予算	実数
前期	4名	4名	—	—	4名	4名
後期	4名	4名	—	—	4名	4名
平均	4名	2名	—	—	4名	2名

	日本語科					
	新入生		継続生		計	
	予算	実数	予算	実数	予算	実数
春期	19名	7名	16名	16名	35名	23名

秋期	34名	2名	30名	23名	64名	25名
平均	26名	4名	23名	19名	44名	24名

〔年間評価〕

<建築科>

- ・後期予定の授業・実習の全てを予定通り実施した。
- ・12月13日～24日に1年生の企業実習を実施した。学生が希望した職種（建築設計・設備設計・構造設計・住宅設計・現場施工管理等）において、先端の技術を体験出来た。
- ・2年生・1年生はそれぞれ12月・1月に後期試験を実施した。追・再試験も行い、1・2年生全員単位を取得した。
- ・3月4日に2年生の卒業制作発表会を実施した。建築・都市計画・インテリア・構造各コースに於いて、それぞれ図面の作成・模型の製作をし、パワーポイントを用いプレゼンテーションを行った。学生の大半は、緊張した面持ちであったが、発表終了後充実感に満ちた笑顔が見られた。
- ・2年生（学院に就職斡旋依頼する35名中）全員が就職内定した（内定率100%）。
- ・3月8日に建築科として2494人目の卒業生を社会に送り出すことが出来た。

<医療秘書科・医療事務情報管理科・診療情報管理士専攻科>

- ・診療情報管理士専攻科は、2009年4月の学科開設以来、13期生合計166名の卒業生を輩出し、3月に最後の卒業生を見送った。最後まで認定試験合格率100%となり最後を飾ることができた。
- ・コロナの影響で医療機関実習が危ぶまれたが、学生全員がワクチン接種を終了し、医療機関のご協力により、全員無事に実習を完了できた。また、実習の事前訪問で学生自ら、実習費を募金していただけるようにYMCAの取り組みを説明し、19件中8件（8万円）の医療機関から募金していただいた。
- ・就職については、実習終了後に実習先から求人を受け、そのまま就職するケースが4割を超えた。求人数は昨年より増加し、年内に全員が内定した。半数の学生が1月から勤務開始となっている。

<ビジネス総合学科・ホテル観光科>

- ・1年生については各ホテルの協力により12月に客室メンテナンス研修が実施で企業実習前の事前研修を行うことができた。2月に予定した企業実習に21名の参加。充実した実習となった。
 - ・2年生は1月に実施されたブライダルコーディネーター国家資格の受験に望み資格取得44%。
 - ・日本人学生は夏までに内定率は100%となった。留学生は苦戦したが就職希望の学生は全員決定。
 - ・卒業制作の模擬挙式においては当初1月30日に熊本市南区のエクセレント様にて実施予定であったが、コロナ感染拡大防止の観点から3月21日への延期とした。
- 準備・制作・練習に全員が主体性を持ち取り組めたことはとても評価できた。
- ・在校生にウクライナ出身の学生がおり、クラスメイトが様々な支援を行った。卒業式では祈りのメッセージを発信したり、国旗色のブレスレットを制作し平和を願った。卒業制作の模擬挙式ではウクライナの国花ひまわりの種を付けた国旗色のバルーンを世界平和を願い、大空へ飛ばした。

<健康スポーツ科>

- ・コロナ禍でも、マッするYMCA健康体操（介護予防教室）は感染対策を取り継続して実施できた。一方、一新小学校との協働で実施している体育館クラブ（子どもスポーツスクール）での活動は、後期はじめは実施できたが、年明けに蔓延防止等重点措置となり実施できなくなった。現場指導に向けたトレーニングはかかさず実践することで、指導力の向上はみられた。
- ・一昨年度から、新規プログラム「NSCAジャパン本部実習（東京研修）」にコロナの影響で行けていない。そこで、異なる形での学生の意気高揚の方法を検討し、認定校となっているNSCAジャパン本部やドームアスリートハウスからプロトレーナーを招聘することとした。夏季の実施を目指し、関係機関と検討していく。
- ・体育コースのある松橋高校の依頼を受け、テーピング実習を実施。またキャンプ実習・スケート実習の依頼も受ける。岱志高校のキャンプ実習も依頼を受け、高校生に直接アピールの機会を得た。現在、2名の松橋高校卒業生が本科、1名が他の学科に在籍しており、現役高校生の中からも本科を希望する学生が出てくると、良い流れが継続できる。今後も高校生たちに直接アピールできる機会を得られる関係を大切にし、継続した募集につなげたい。

- ・受験者数が前年度比76%と募集に苦戦した。オープンキャンパス参加者数は前年度と同様であったため、新校舎に移ってからスポーツ科の特徴を十分に伝えられていないことが考えられる。オープンキャンパスへの動員から、募集につながるような内容を検討して実施していきたい。

<介護福祉学科>

募集停止のため、在籍者なし。

<児童福祉教育科・こども保育科>

- ・教育・保育実習は、前期と同様に、現場からの行動履歴提出や、一部ではあるが抗原検査、PCR検査の求めに応じて実施することができた。3年生に関しては、時期的に、実習を行えない実習園もあり、11月末までかかってしまった。実習中の授業に関しても、実施をそろえていかなければならない部分も多く、そのため、授業がずれてしまうことがあった。次年度は、オンデマンドも並行しながら、授業を行いたい。実習先との密な連絡と信頼関係が必要になることを痛感し、丁寧な指導が必要となった。
- ・前期実施ができなかった芸術鑑賞(福岡、劇団四季)3学年ともに実施することができた。
- ・YMCAのキャンプTシャツを児童養護施設の子どもたちに寄贈するため各学年で役割分担し、準備日を進め、4か所の児童養護施設(藤崎台童園、シオン園、光明童園、天使園)へキャンプTシャツを渡すことができた。
- ・実習報告会、合同授業、学科交流会、クリスマス礼拝など、学年を超えての関わる機会を提供。
- ・卒業発表会の練習の応援、施設に勤める卒業生講話など、卒業生とのつながりを感じる時間を過ごすことができた。
- ・募集に関しては、インスタへの露出、高校への学生との来所等を予定した。
- ・動画作成も積極的に行った。オープンキャンパスでも動画を見たなどの声が聞かれることもあり、今後の募集にもつながっていると感じている。

<グローバルコミュニケーション科>

- ・12月5日に実施された第2回日本語能力試験の結果、N2受験3名、合格0名、N3受験1名、合格。N2はあと2点で合格というところまでいった学生もいた。結果は出なかったが、この1年で日本語力は伸び、自己学習のしかたは身につけられている。
- ・1月11日～28日までの冬季集中講座では、漢字・語彙力とパソコン入力の正確さを高めることに集中した。
- ・1月29日校外授業は市電を利用し、健軍神社、水前寺公園参道、ルフィ像(県庁)を見学した。日本語ができるようになると行動範囲が広がり、物事の理解も深まると実感したようだった。
- ・2月、3月は入試や進学準備で各学生が不定期で登校した。全員志望校に無事合格できた。進学後の頑張りに期待したい。

<日本語科>

- ・2021年1月から始まった外国人の入国制限が2022年2月末まで続いたため、2021年度中の新入生の入国が叶わず、在籍生は25名に留まった。しかし、2022年3月1日から制限が解除されたことにより、2022年4月期の新入生は最大で55名の予定であり、次年度以降の回復の目途がたった。
- ・中国からオンラインで授業に参加していた学生が、熊本県日中協会作文コンクールで最優秀賞を獲得した。本学院オンライン授業の質の高さを証明する結果となった。

(2) 附帯事業

校舎	部門	講座名	細目	開講月	予算	実数
中央	高等学校	単位制通信制高等学校サポート科	前期新人	月	0名	0名
			前期継続	月	0名	0名
			後期新人	月	0名	0名
			後期継続	月	0名	0名

募集停止のため、在籍者なし

校舎	部門	講座名	開講月	予算	実数
本館	通信制事業	社会福祉学科通信制	4月～3月	74名	87名

	社会福祉受験対策講座	10月・11月	100名	75名
	精神保健福祉学科通信制	4月～2月	35名	48名
	精神保健受験対策講座	10月・11月	30名	31名

[年間評価]

- ・スクーリングはコロナの影響によりG o o g l e M e e t を利用してのオンライン授業と対面授業のハイブリッドで行った。オンライン授業は事前に授業に関するアンケートや練習会を行った。
- ・社会福祉学科1年生の実習は通常通り予定している。
- ・受講生のほとんどが医療機関や福祉施設に勤務しているため対面式のスクーリングについては警戒感が強い。
- ・精神保健福祉学科の修了式はM e e t での完全オンラインで実施し、修了式後の交流会についてもオンラインで実施した。
- ・国家試験については、社会福祉学科は63名が受験し、合格26名だった。合格率は41.3%。(全国合格率31.1%)。精神保健福祉学科は38名が受験し、合格34名。合格率は89.5%。(全国合格率65.6%)。例年より合格率が低く、コロナで受験しなかった方もいたことも要因の一つである。